日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行　日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3－6　電話24－2456

原発 コロナ第8波の対策 物価高騰 市民の暮らしは
11月定例市議会始まる

11月30日松江市議会定例会が招集され、条例、指定管理者の指定、補正予算など13議案が提案され、市長が提案理由を述べました。会期は12月20日までと決定しました。

一般質問は5日から7日にかけて行われ、舟木けんじ、たちばなふみ両市議は7日に一般質問を行いました。

8日から13日まで各常任委員会、16日には予算委員会が開かれ、審査の後、20日の最終日に、意見書や陳情などと共に採決が行われます。

条例案件は、①個人情報保護法の改正に伴うもの、②小泉八雲記念館、旧居の入館料、観覧料を利用料金制に変えるもの、③保育の短時間認定の時間帯を、現行午前8時から午後4時までを、午前8時半から午後4時半までと改定し、延長保育料金を設定するなどです。

一般会計補正予算は、33億4050万円。主な内容は、新型コロナウイルス対策として生後6か月から4歳の乳幼児対象のコロナワクチン接種の体制整備など、電力・ガス・食料品等価格高騰対策として、保育園幼稚園の給食費補助、公共交通支援などです。

その他、日本脳炎や子宮頸がん予防接種事業、災害復旧事業など。また新庁舎建設について今年度1億5千8百万円を追加するとしました。完成までに5億7500万円追加し、総額155億7500万円と計上しています。

コロナ禍で市民の命と暮らしまもる
共産党市議団の一般質問

市議団は7日、以下の項目で質問に立ち、市の見解を質しました。山陰ケーブルビジョンの公式ユーチューブチャンネルで録画を見ることができます。ぜひご覧いただき、ご意見ご要望をお寄せください。

たちばなふみ
市議会議員

たちばな ふみ 議員

1. 新型コロナ禍で市民を守る施策について
①第8波とインフルエンザ同時流行の対策について
②中小企業・小規模事業者支援について
2. 女性への暴力撤廃へ市の相談体制拡充を
3. 鳥獣被害 農家へ支援を
4. 島根原発について
①運転期間の延長問題
②避難計画・住民参加の訓練の教訓
③事前了解は撤回を

舟木けんじ
市議会議員

舟木 けんじ 議員

1. 介護保険制度～滞納処分、介護保険の利用料、特別養護老人ホームの待機者問題、介護現場の人材不足問題、介護予防・日常生活支援総合事業
2. 生活保護の扶養照会
3. 原子力防災訓練～避難行動要支援者の避難

日本共産党100周年

入党して40年
党員人生に悔いなし

島根県議会議員
尾村 利成

どんな攻撃にも立ち向かう党に共鳴

今年2022年は、1922年7月15日に日本共産党が創立されて、100周年の記念すべき年です。私は、20歳の時に日本共産党に入党、今年で党に入って40年になります。

日本共産党の100年は、どんな困難のもとでも国民を決して裏切らず、社会進歩の大義を掲げ、不屈にたたかってきた歴史です。立党の精神は「国民の苦しみを解決すること」です。だからこそ、どんな攻撃にも不屈の精神で立ち向かうことができます。

戦前の暗黒政治のもと、日本共産党は厳しい迫害を受けながらも、命がけで侵略戦争に反対し、国民主権の旗を掲げて不屈にたたかった唯一の政党です。この党の歴史に感動し、入党を決意しました。

くらしと命を守る議席として

40歳の時に県議に初当選し、5期20年、県議として働いてきました。「政治には人の命がかかっている」「県民のくらしと命を守る護民官として力を尽くす」ーーこのことを胸に刻んで活動を続けてきました。

党の真骨頂は、「清潔、スジを通す、ブレない」ことにあります。汚れたお金を受け取らない清潔な党だからこそスジを通し、ブレることなく、活動することができます。

この党の一員であることは誇りであり、「わが党員人生に悔いなし」です。

原発ゼロでこそ笑顔で暮らせる島根

11月29日、丸山達也知事は「笑顔で暮らせる島根をつくる」と決意を述べ、2期目の出馬を表明しました。「笑顔と幸せ」を奪い去るのが原発事故です。事故の不安に怯えながら、島根で生活すること自体、笑顔で暮らす島根とは言えないではありませんか。

島根県商工団体連合会事務局長として
日産生命被害者の会で基調報告

県議の使命は、県民の命と安全に責任を持つことです。多くの県民のみなさんと力を合わせ、「原発のない安全・安心の島根」をつくるために全力を尽くす決意です。

来春は県議選です。オール与党の県議会の中で、県民の利益を守る立場でスジを通して頑張り抜きます。政治のおおもとは国政です。財界いいなりで物価高騰に無為無策、憲法改悪を企み、原発推進の自民党政治を転換するために、何としても中国ブロックの日本共産党の衆議院議席を奪還しなければなりません。